

KSKQどかどかつうしん No. 247



特定非営利活動法人いばらき自立支援センター

ぽぽんがぽんNews

2011年 1月

年頭のご挨拶



新年、明けましておめでとうございます。

旧年中はご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2011年の新たな幕が上がりましたが、福祉を取り巻く社会情勢は、2010年から積み上げている問題が山積みのような気がしてなりません。自立支援法廃止の方向が出て、総合福祉法の検討が制度改革推進会議で行われているさなかに、不十分な改正案が通り、いったいどうなるのでしょうか。

しかし、社会情勢がどうなろうと、私たちは私たちが目指すべきだと信じる方向へ進むだけです。

今ぽぽんがぽんは、組織として過渡期にあると言えます。事業化を進める中で、理念という魂をなくすことなく、しっかりと基盤固めをしなければならないと考えています。

2011年という新たな年を迎えると同時に、法人化10周年を迎えるぽぽんがぽんですが、今年は改めてぽぽんがぽんのその理念や、これから目指すべき方向を、わかりやすい言葉で、会員・職員・利用者・ぽぽんがぽんに関わる全ての人と共有しながら、進んでいくことを大事にしたいと考えています。



ぽぽんがぽんは、真面目です。真面目が一番だと考えているからこそ、この10年も不器用ながらに右往左往しながら進んできています。この真面目さと不器用さを武器にして、これからも日々邁進してまいりますので、今後も変わらぬご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。



事務局一同

もくじ

- 1. 年頭のご挨拶
- 2. ろくちゃんまちをゆく



- 3. お米の宣伝、自主製品の通信販売
- 4. 寄付金のお礼とお祝い
バザー用品のお礼とお祝い

どかどかつうしんは、ホームページでもご覧いただけます。

<http://popongapon.com/>



ろくちゃんまちをゆくNo.82

新年を迎え、また新たな年にしていきたいと思っていますので、改めまして、今後とも『ろくちゃんまちゆく』をよろしくお願ひ致します。

さて今回は、私の歴史をほんの少しだけ書かせてもらいます。

私は、自立生活を始めてから今年でとうとう10年が経ちました。最初は10年も過ごせるのか…と不安に思った事もありましたが、最初に決心をした時から今日までは、本当にあっという間でした。

そもそも自立生活をはじめるときかけになったのは、4歳の時に母親が病気で入院し、私は家族と離れて施設で生活する事になりました。家族と一緒に生活出来ない寂しさが、また施設で沢山の仲間と一緒に生活をする事による家族との生活の質の違いもありました。集団生活の中ではよく制限があり、例えば、お風呂に入ること1つをとっても、家族と過ごす毎日入る事ができるのに、施設では曜日と時間が決められており、そういう制限のある生活が辛かったです。

高校の頃から家族と一緒に生活が出来るようになり、この時は、家族と当たり前の生活ができることが嬉しく、この生活をずっと続けていければという気持ちがありました。しかし、自分の将来の事を考えていくと、親が亡くなったら施設へ逆戻り…を想像してしまい、それだけは避けたいのと、家族が元気な間に、少しでも安心させたかった事もあり、10年前に自立生活を決意しました。

自立生活をはじめた時のエピソードとしては、部屋が散らかったまま出かけたんですが、帰宅すると、当たり前の事ですがそのままの状態でした。1日、2日はそれも新鮮で楽しいなと思っていたのですが、1週間を過ぎた頃から、段々その現実嫌気がさし実家に帰った事がありました。しかし実家に帰ってみると、自分の部屋には新たな荷物が置かれ、今までと違う部屋になっていました。自分の部屋が無くなっていることを実感し、そのまま諦めて自分の家に戻りました。この瞬間に、本当に心の底から自立生活を決心したと思っています。

自立生活をしていく中では、ヘルパーは大事な存在です。元々施設で家族以外の人に助けてもらっていたので、助けてもらうのに抵抗はありませんでした。しかし、ヘルパー利用を始めたころは、毎日自分の身体のことを考えながら食事を決めたり、掃除の事も考え、さらにそれをヘルパーに伝える事が何より大変でした。また、ヘルパーによって得意、不得意があり、伝えてもうまくいかない時もあり、そのことで悩んでいた時期もありました。

その後、日々過ごしていく中で、時にはヘルパーから提案してもらったりして生活を楽しむようになり、段々と慣れていきました。しかし、慣れてきた頃にはヘルパーが辞めることもあり、寂しいこともありました。

自立生活には楽しいこともしんどいこともあります。が、施設で決められた生活をするよりも自分で決めた生活をしていく方が私は間違いなく楽しいです。家族はいつまでも心配していますが、楽しく元気に生活を送っていくことが、安心してもらえることだと勝手に思いこんでいます。

次は自立生活20年に向けて、これから新たな目標を決めてがんばろうと思います。

今月号では、私の自立生活について書かせてもらいました。

文責 六條友聡



「ぽかぽか」の**おいしい減農薬米**



とっても**おいしいお米**をお届けいたします。みなさんぜひ、**お試し下さい**！！

* **仕入れ・配達開始予定日**

1月4日（火）、18日（火）は**コシヒカリ**

2月8日（火）、22日（火）は**コシヒカリ**

※ **配達開始予定日の1週間前**に**発注**をしますので、それまでに**注文・変更**をお申し出下さい。

お申し込み、**配達等お問い合わせ**・・・

「ぽかぽか」お米の**配達担当**：山本 **電話 & FAX 072-637-0115**

「**アルミ缶**」**あつめています**！

回収ボックスは、「どかどか」「ぽかぽか」**東和苑の公園**にあります。

ゴミ袋3袋以上であれば**回収**に伺いますので、ぜひ**ご連絡**下さい！

ちなみに、**月曜日**は**主原・水尾方面**、**水曜日**は**東和苑花園方面**に**回収**に出ています。

「どかどか」072-637-6882（ひろさわ）迄。



どか・ぽか

通信販売

【ご注文・お支払い方法について】★メールでの注文も始めました★

① 下記の表に記入の上、メール（poponga_doka@yahoo.co.jp）

FAXまたは郵送でお申し込み下さい。

② 商品と振り込み用紙をお送りします。

③ 代金を1ヶ月以内にお振り込み下さい。※郵送代はお客さまご負担となります※

「どかどか」「ぽかぽか」商品一覧表 ※注文数は「セット数」でお願いします。



品名	内容	価格	内容	注文数
1001	てすきはがき	1セット 5枚	¥100 無地	
1002	てすきはがき	1セット 5枚	¥100 テーマ付	
1003	てすきふうとう	1セット 5枚	¥200 定型内サイズ 郵送可	
1004	ミニツレ-ジカード	1組	¥100 カードと封筒のセット	
1005	一筆箋(いっぴつせん)	1セット 10枚	¥150 無地	
1006	ひとことカード	1セット 10枚	¥150 名刺サイズのカード	
1007	アクリルタワシ	1]	¥50 手編み	
2001	すてんしるはがき	1セット 2枚	¥100 絵柄入り	
2003	ミサンガ	1本	¥300 手編み	

【ご注文書】

どかどか072-637-6882

(フリガナ)

TEL - -

おなまえ

FAX - -

〒 -

お届け先ご住所

「センター寄付金」へのご協力ありがとうございました

11/9～12/6まで (順不同)

太田様 村上様 鎮山様 小野様 山下様 稲本様 富井様 村上隆之様

その他たくさんの方様 ありがとうございます。



2001年2月よりNPO法人として活動を開始し、9年が経ちます。地域に根ざした障がい者支援活動を継続していく中で、事業規模が年々大きくなってきています。すると、事業を運営していくための運転資金も年々大きくなっていきます。そのため、皆様からのご寄付がありましたらとても助かります。

少額でも構いませんので、何卒皆様のご協力をお願いいたします。

郵便局 郵便振替口座番号 00950-5-314522

口座名 「いばらき自立支援センターぽぽんがぼん」

◎通信欄に『センター寄付金』とおかきください



アルミ缶・バザー用品・牛乳パック等のご提供ありがとうございました

11/9～12/6まで (順不同)

埴淵様 田井様 橋梅様 吉田様 谷川様 端様 山際様 奥田様 堀之内様 峯松様
田主様 岡崎様

その他たくさんの方様 ありがとうございます。

バザー用品提供お願いします

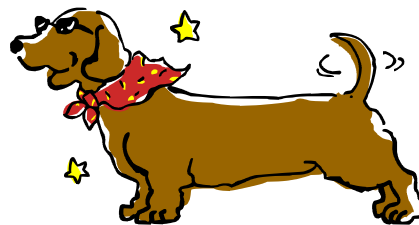
『衣類』子供・大人・新品も古着もOK (しみ、破れのないものでお願いします)

『日用品』雑貨・カバン・新品食器等 (大型、電化製品はお受けできませんのでご了承ください)

(ご持参いただくと大変助かります)

「ぽかぽか」主原町13-3 TEL: 072-637-0115

「ふかふか」南安威2-6-20 TEL: 072-643-6898



編集者：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」 Tel/Fax (072) 637-6882

〒567-0842 茨木市五十鈴町7-29シーコーポ 五十鈴1F

発行人：関西障害者定期刊行物協会 〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2東興ビル4F

定価50円



一九九一年九月三日第三種郵便物認可 毎日発行